

## 今治市立図書館魅力発信業務仕様書

今治市（以下「市」という。）が委託する今治市立図書館魅力発信業務（以下「本業務」という。）の仕様は次のとおりである。

### 1 業務名

今治市立図書館魅力発信業務

### 2 目的

今治市立図書館（以下「当市図書館」といいます。）は、今治市立図書館条例に基づき、資料等の提供を通じて市民の知る権利を保障し、また生涯学習等の学習要求を支援することにより、市民の教育と文化の発展に寄与することを目的に設置されています。

今治藩校克明館の蔵書等を継承し、大正末期に今治市立図書館となり、今治市民の図書館として歩み始めてから、来年で100年の節目を迎えます。当市図書館は、今治市の歴史・文化などの記録を収集しながら、今治市の知の拠点として、市民とともに、この100年を重ねて参りました。これら今治市の記憶を未来に伝えていくことは、当市図書館にとって大きな責務です。

また、現在では今治版ネウボラの展開に併せ、0歳から18歳までの若者とその子育て世代が集い学ぶことで、親も子も一緒に育つ「育ちのサテライト」をコンセプトにした機能強化に加え、「人生100年時代」を迎え、誰もがいくつになっても学ぶことができる図書館サービスの充実を目指しています。

本業務は、当市図書館のこれらの魅力を、外部視点から新たに発掘し、広く発信することで、その認知度を高め、これまで以上に今治市立図書館の利用促進に繋がるよう取り組むものです。

### 3 委託期間

委託契約締結日から令和8年3月31日まで

### 4 見積限度額

¥2,000,000円（消費税及び地方消費税の額を含む）

### 5 業務内容

受託者は、当該業務を遂行するため、次の業務を行うものとする。

(1) メディアを活用した情報発信

本市と協議のうえ、素材発掘、広告制作、情報発信を行うこと。

ア) 広告制作

情報発信のための素材発掘及び広告制作を行うこと。

例) プレスリリース資料作成、イベントチラシ・動画制作など

イ) 情報発信

ア) で制作した広告を、メディア等を通じて情報発信すること。

例) 自社又は他社媒体による発信、公共施設等での掲示や配布など

(2) イベントを活用した情報発信

各館それぞれのコンセプトを踏まえた上で、館外イベントを企画・運営し、イベントを活用した情報発信を行うこと。

また、可能な限り市イベントと連動することで、効果的な取り組みを行うこと。

ア) イベント開催

- ① 今治市立中央図書館(コンセプト:世代をつなぎ未来をひらく、まちの知の拠点)  
上記コンセプトを踏まえ、鷺ノ町公園及び駅南公園を一体利用した館外イベントを5回以上開催すること。

併せて、当該イベントを活用し、今治市立図書館設置100周年の情報発信を行うこと。

- ② 今治市立波方図書館(コンセプト:知と技術で支える、地域のものづくり拠点)  
上記コンセプトを踏まえ、館外イベントを2回以上開催すること。

- ③ 今治市立大西図書館(コンセプト:まちで育てる、えほんと親子の時間)  
上記コンセプトを踏まえ、館外イベントを2回以上開催すること。

- ④ 今治市立大三島図書館(コンセプト:海と読書でつながる、ゆったり図書を楽しめる空間)  
上記コンセプトを踏まえ、館外イベントを2回以上開催すること。

イ) 管理業務区分

- ① 当該イベント開催に係る各種手続き、人員配置、資材準備・撤去、経費支払等については、受託者負担とする。

② 市と協議が整えば、市所有物品を無償貸与できる。

③ 市と協議が整えば、会場使用料を免除できる。

(3) 広告の出稿・管理・編集

情報発信は、広告ごとに受託者から市に提案し、市と協議のうえ決定する。

(4) 打合せ

本業務を適正かつ円滑に実施するため、市と受託者は、随時業務内容に関する協議を行う。協議終了後は速やかに「打合せ協議簿」を担当課に提出する。

(5) 業務報告書の作成

上記の業務成果をまとめた業務報告書を作成する。 (「6. 成果品」参照のこと)

6 成果品

(1) 成果品

- ① 実績報告書(正副本 1 部ずつ)
- ② 打合せ協議簿(正副本 1 部ずつ)
- ③ 広告物、動画、写真等作成物のデータ
- ④ その他、実績報告に必要なデータ(画像等)

(2) 成果品の使用について

- ① 市は成果品を編集・加工し、広告等の二次的著作物を作成できるものとする。
- ② 市は成果品及び二次的著作物について、公衆送信、送信可能化を行えるものとする。

7 著作権等

(1) 本業務の成果品にかかる著作権(作成過程で作られた素材等の著作権を含む)及びその権利は、すべて市に帰属する。当該著作権は著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。

(2) 受託者は、市に対し、著作者人格権を行使しないものとする。

(3) 成果品及び構成要素に含まれる第三者の著作権、商標権、その他の権利については、受託者が当該既存著作物等の使用に必要な費用を負担し、さらに使用許諾契約等に関わる一切の手続きを行うこと。

(4) 受託者は、第三者との間に著作権、その他権利にかかる権利侵害の紛争等が生じた場合、当該紛争等の原因が本市の責めに帰する場合を除き、受託者の責任、負担において解決すること。

## 8 委託料の支払い

委託料の支払いは、見積限度額の範囲で、仕様書の「5. 業務内容」に係る費用については、業務完了後に支払うものとする。

## 9 その他

(1) 受託者は、本業務の実施にあたり、業務内容及び実施方針について市と十分な意見の調整及び協議を行うこと。

(2) 受託者は、本業務に関わるすべての情報について、市の許可なく外部に漏えい、転用してはならない。

(3) 受託者は、本業務を遂行するにあたり個人情報の保護に関する法律等関連法規を遵守し、適切に保護すること。

(4) その他、本仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、その都度協議の上、決定するものとする。